



全世界興行収入 10 億ドルを達成！！

日本でも興行収入103億円を超え記録更新中！

＜本リリースは5月27日本社発表リリースの翻訳です＞

2010年5月27日、カリフォルニア州バーバンク発 —— ティム・バートン監督の大作ファンタジー・アドベンチャー『アリス・イン・ワンダーランド』は本日、世界興行収入 10 億ドル達成という歴史的な節目に到達しました。過去に 10 億ドルの大台に乗った作品は『アリス』を含めて 6 本しかなく、特にシリーズ作品以外では『タイタニック』『アバター』に続いて第 3 位です。

ウォルト・ディズニー・スタジオ会長リッチ・ロス は次のように述べています。「これほどのすばらしい 3D 映画をみなさまにお届けできて、とても幸運だと感じています。この作品はティム・バートン監督の構想力と、ジョニー・デップ、ミア・ワシコウスカ、ヘレナ・ボナム＝カーター、アン・ハサウェイの創造的な才能から生み出されたものです。ディズニーのマーケティング・チームは、各地の上映パートナーと協力しながら、このクリエイティブな傑作を世界中のファンに届けようと、あらゆる機会を追求しました」

『アリス』は US で公開された最初の週末(3月5-7日)からさまざまな記録を打ち立てて行き、公開第 1 週の興行収入は 3 月封切り作品として史上最高、3D 映画としても史上最高、そしてティム・バートンの監督作品としても最高でした。また、シリーズ作品以外ではウォルト・ディズニー・スタジオ史上最高の第 1 週興行収入を記録しました。

『アリス・イン・ワンダーランド』のアメリカ国内興行収入は 3 億 3,200 万ドルに達しました。これは、『パイレーツ・オブ・カリビアン/デッドマンズ・チェスト』と『ファインディング・ニモ』に次いで、ウォルト・ディズニー・スタジオの歴代第 3 位です。また米国内興行収入では現在、史上第 19 位にランクしています。

同時に『アリス』は世界各地の観客を惹きつけています。米国外での興行収入は今日までに 6 億 6,700 万ドルに達し、この数字はディズニー史上最高です。『アリス』は日本だけでも 6 週連続で興行収入トップを続け、今日までに 1 億 800 万ドル(103億円)以上の興行収入を上げています。これにイギリスの 6,400 万ドルが加わるほか、フランス、ロシア、イタリアも 4,200 万ドルを超えています。さらにドイツ、オーストラリア、中国、メキシコが 3,000 万ドル超、スペインとブラジルも 2,500 万ドルを超えています。この映画は、まさに世界の多くの国の映画館で観客を魅了し続けています。

【ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社について】

ザ・ウォルト・ディズニー・カンパニー(米国本社)は、1959年に現地日本法人を設立し、日本市場に本格参入しました。2000年4月に日本国内の複数の関連子会社を統合、2002年8月にウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社に社名変更し、東京ディズニーリゾート以外のディズニービジネスを日本で管轄しています。米国本社のメディア・ネットワーク、パーク&リゾート、スタジオ・エンターテインメント、コンシューマ・プロダクツ、インタラクティブ・メディアの 5 部門に対応する形で、日本において多角的な事業を展開しています。